

第4世代地球シミュレータは、運用開始から5年目を迎え、今年度もベクトル、CPU、GPUの各ノードの特性を活かした多彩な成果が創出されました。特に年度後半には、ベクトルおよびCPUノードにおいてシステムが非常に混雑し、数多くの計算が実行されました。また、次期システムへの移行に向けた検討と準備も着実に進んでおり、引き続き地球シミュレータを利用した研究成果が挙げられることを期待しています。

地球情報科学技術センター長
石川 洋一

